

子ども司書新聞

第2号

7月23日発行

「分類体系を考える」ことは図書館司書の大事なお仕事です

486

ア

1

7月23日(土)、子ども司書養成講座2回目の講義が行われました。今回のテーマは「図書館の本のおはなし」、そして「本の分類、NDCってなあに？」です。まず、図書館で本が貸出されるまでにどのようなことをしているのかを学びました。その中から分類と装備を実際にやってみようということで、なおみ先生の指導の下、内容を見て自分たちでどの本の仲間になるかを考えてみたり、バーコードやラベルをはったりしました。この仲間分けをすることを「分類体系を考える」といい、図書館司書のいちばん大きな仕事だと、なおみ先生は教えてくださいました。また、本を丈夫にするためのフィルムコートも実際にやってみました。空気が入らないようにしたり、本がずれないようにしたりと悪戦苦闘しながらみんながんばっていました。

次回は、カウンターのお仕事とレファレンスに挑戦です。利用者みなさんにはご迷惑をおかけしてしまうかもしれませんが、温かい目で見守っていただければと思います。

第3回 7月30日

カウンターのお仕事
レファレンス

次回の講師より

「今日勉強した本の分類とNDCを覚えてきてね。カウンターのお仕事では「やさしい笑顔」を忘れずに持ってきてください。」



<編集後記>

担当：しも

第2回にして、図書館の基礎となる大事なお話です。実はフィルムコートをきちんと教えてもらうのは、わたしもこれが初めてなのでした。今日はおそくなってごめんね。